

2012年3月11日、あなたの日常の一コマを記録してください

フジテレビとリドリー・スコット&トニー・スコット兄弟が 全世界にメッセージを発信

『Japan in a Day ジャパン イン ア デイ』プロジェクト発足

本日2月28日(火)より

<http://www.fujitv.co.jp/japaninaday/>(フジテレビHP)

<http://www.youtube.com/JapanInADay/>(YouTube特設サイト)

フジテレビは、本日2月28日より、「エイリアン」「ブレードランナー」「グラディエーター」などで世界的な評価を得る映画監督、リドリー・スコットとトニー・スコットの兄弟と共に、東日本大震災から一年を経た2012年3月11日の映像の記録を、人類の共通の財産として共有するプロジェクト『Japan in a Day ジャパン イン ア デイ』(以下、『Japan in a Day』)を立ち上げることを発表いたします。



日本が、そして世界が自然の脅威に震えたあの3月11日から一年—
あの日から一年、人々はどんな一日を過ごすのか—
それを記録に残すことが、あの日を“忘れない”ということ、あの日を心に刻むということ。

『Japan in a Day』とは、自分のカメラで自分の“3・11の日常”、“軌跡の一步”を動画で撮影・投稿していただき、その中の独創的な映像とフジテレビの取材映像等を、フジテレビと英国の制作プロダクション“スコットフリー”が集約・編集し、一本の映画を作り上げていく“みんなでつくる映画、ソーシャルムービー”プロジェクトです。

完成した映画『Japan in a Day』は、今秋、日本を皮切りに世界でも劇場公開予定で、国際映画祭への出品も視野に入れています。

また、この映画の収益の一部は、被災地に寄付する予定です。

<コメント>

▽リドリー・スコット

「2010年に築いた「Life in a Day」フォーマットは、“映画製作に参加する機会を世界中の人々に与える”という、新しい「実験」でした。個人からの動画投稿にはそれぞれのストーリー、秘密や願望が詰まっており、送られてきた映像から「今日を生きるとはどういうことか」を見ることができたのです。

『Japan in a Day』からも同様に、しかしもっと密に、今日をいきる“日本人”の日常や希望、恐怖や夢を垣間見ることができると思います。その結果が今から楽しみです。そして、フジテレビがスクリーンを通して送る日本国へのラブレター、その成功を願っています。」

▽早川敬之チーフプロデューサー(フジテレビ編成制作局編成センター メディアプロデュース部)

「あれから1年がたっても、復興庁の統計によれば、いまなお34万をこす方々が避難を余儀なくされている事実に、私たちは今更ながら慄然としています。私自身、被災した宮城県の出身であるため、地震と津波の被害によって数多くの友人が命を落としました。

“自分に何ができるのか”この一年、そう思い、悩み続けた皆様とこそ、このプロジェクトと一緒に進めたいと願っています。あなたは、だれと、どんな風に今年の3月11日を過ごしますか？ 記録と記憶を共有する映画『Japan in a day』にたくさんの投稿をお待ちしています。」

◇『Japan in a Day ジャパン イン ア デイ』プロジェクト概要

自分のカメラで自分の“3・11の日常”を撮影し、『Japan in a Day』特設YouTubeサイトに映像をアップロードしてください。その中の独創的な映像や、フジテレビの取材映像、被災地を中心に配布予定のカメラにより撮影された映像などをつなぎ合わせ、一本の映画『Japan in a Day』を製作いたします。参加者の投稿した動画が「映画」になるかもしれない…。そんなプロジェクトです。

■動画撮影日時： 2012年3月11日(日) 0:00～23:59

※撮影場所の「3月11日」であれば、世界中どこからでも参加可能

映像は、2012年3月11日(日)に撮影されたものでなければ不可

■動画投稿期間： 2012年3月11日(日)～2012年3月25日(日)

■U R L: <http://www.fujitv.co.jp/japaninaday/> (フジテレビHP)

<http://www.youtube.com/JapanInADay/> (『Japan in a Day』YouTube特設サイト)

■応募資格:

①応募者は、撮影日の時点で13歳以上、また外国からの投稿の場合、国の定めで成人であること。

13歳以上20歳未満(あるいは応募者の国の定めで未成年)の方は、保護者による同意書を提出する必要があります。映像が映画製作の最終段階に残った場合、映画製作会社より連絡し保護者に同意書を提出していただきます。

②被写体に年齢制限はありません。

被写体が20歳以上(もしくは国の定めで成人)の場合は、被写体本人による出演許可書の署名が必要です。

被写体が20歳未満(もしくは国の定めで未成年)の場合、保護者に未成年用の出演許可書に署名していただきます。

※映像撮影の経験は問いません。

■スタッフ: エグゼクティブ・プロデューサー / リドリー・スコット&トニー・スコット

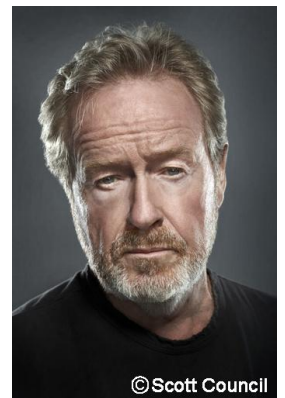
チーフプロデューサー / 早川敬之(フジテレビ)

製作チーム / スコットフリー(英国)

<プロフィール>

▽リドリー・スコット

リドリー・スコットは、3度アカデミー賞監督賞にノミネートされたことのある、名高い映画製作者である。ノミネートされた作品は、2002年「ブラックホーク・ダウン」のほか、アカデミー賞/ゴールデングローブ賞/BAFTAにて最優秀作品賞を受賞した「グラディエーター」、1991に自身初の監督賞ノミネートとなった「テルマ&ルイズ」。その他の作品には、「アメリカン・ギャングスター」、「ワールド・オブ・ライズ」、「プロヴァンスの贈りもの」、世の中に衝撃を与えた「ブレード・ランナー」、そしてクラシック「エイリアン」。監督作品としては、大ヒットをおさめた「ロビンフッド」が最新作。現在は、今年、公開予定の最新作「プロメテウス」(出演者:マイケル・ファスベンダー、シャーリーズ・セロン、ノオミ・ラパス)のポストプロ作業を行っている。弟・トニーとともに映画およびテレビのあらゆる作品を製作する「スコット・フリー・プロダクション」を設立。2003年にはアート界における貢献に対し、大英帝国勲章が授与されている。「Life in a Day」の製作総指揮を行ったリドリーおよびトニー・スコットは、『Japan in a Day』の製作総指揮を行う。



© Scott Council

※「Life in a Day」: スコット兄弟の制作総指揮の世界発、地球規模の歴史的試みによるドキュメンタリー映画。

2010年7月24日という何気ない日常の1日、24時間を撮影、投稿された動画は世界192カ国から約8万本、4500時間。その中から魅力的な映像を編集して誕生した軌跡のソーシャルネットワークムービー。2011年公開。

▽早川敬之(はやかわたかゆき・フジテレビ編成制作局)

1994年NHKに入局。テレビドキュメンタリーのディレクター・プロデューサーとして核問題、アジア経済等のテーマを手がけ、アジアテレビ映像祭グランプリ('98)、地方の時代映像祭グランプリ('01)等受賞作品多数。2010年にフジテレビ入社。現在は、昨年9月に新設された編成制作局編成センター・メディアプロデュース部副部長として、放送とインターネットを連動させたTVの楽しみ方を視聴者に提供する、新たな企画立案および推進を行う。宮城県仙台市出身。

株式会社フジテレビジョン 会社概要

社 名: 株式会社フジテレビジョン

本社所在地: 〒137-8088 東京都港区台場 2-4-8

設 立: 平成20年10月1日(新設分割のため)

代 表 者: 代表取締役社長 豊田 皓

U R L: <http://www.fujitv.co.jp/>